



社協だより

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL0291-32-5831
ホームページアドレス <http://www.hokotashakyo.or.jp>

第 40 号
平成24年11月30日発行
発行 者
社会福祉法人
銚田市社会福祉協議会
会 長 鬼 沢 保 平
編 集 者
調 査 報 告 員 長 中 島 庸 介



第4回銚田市社会福祉大会



作文コンクール表彰式



講演

十一月十日(土)銚田市立大洋公民館において、第四回銚田市社会福祉大会が開催されました。
第一部では、第四回福祉作文コンクールの表彰式が行われ、最優秀賞一名、優秀賞二名、佳作五名に平沼副会長から表彰状が手渡されました。また、上位入賞した作品を子どもたちが朗読を行い、その後審査委員長の講評をいただきました。
第二部では、宮城県名取市の渡辺修次先生より、「東日本大震災における被災体験から」と題して、講演をいただきました。昨年の三月十一日に発生した東日本大震災で、自ら三か月の間校長室に泊まり、避難所運営の指揮を執り、自助・共助による自治活動の体験談を話されました。参加された方々は、震災の貴重な話や避難所での生活の状況を熱心に聞き入っていました。
第三部では、顕彰、式典が開かれました。式典では、大会会長の挨拶の後、多年にわたって社会福祉の発展に寄与・功績のあった方々に、表彰状と感謝状が手渡されました。受賞者代表である風間捷雄さんより謝辞をいただき、運営委員が大会宣言を朗読し、閉会しました。
大会に参加された方々は、震災に対する心構えが出来たことと思います。

十一月十日(土)銚田市立大洋公民館において、第四回銚田市社会福祉大会が開催されました。
第一部では、第四回福祉作文コンクールの表彰式が行われ、最優秀賞一名、優秀賞二名、佳作五名に平沼副会長から表彰状が手渡されました。また、上位入賞した作品を子どもたちが朗読を行い、その後審査委員長の講評をいただきました。
第二部では、宮城県名取市の渡辺修次先生より、「東日本大震災における被災体験から」と題して、講演をいただきました。昨年の三月十一日に発生した東日本大震災で、自ら三か月の間校長室に泊まり、避難所運営の指揮を執り、自助・共助による自治活動の体験談を話されました。参加された方々は、震災の貴重な話や避難所での生活の状況を熱心に聞き入っていました。
第三部では、顕彰、式典が開かれました。式典では、大会会長の挨拶の後、多年にわたって社会福祉の発展に寄与・功績のあった方々に、表彰状と感謝状が手渡されました。受賞者代表である風間捷雄さんより謝辞をいただき、運営委員が大会宣言を朗読し、閉会しました。
大会に参加された方々は、震災に対する心構えが出来たことと思います。

十一月十日(土)銚田市立大洋公民館において、第四回銚田市社会福祉大会が開催されました。
第一部では、第四回福祉作文コンクールの表彰式が行われ、最優秀賞一名、優秀賞二名、佳作五名に平沼副会長から表彰状が手渡されました。また、上位入賞した作品を子どもたちが朗読を行い、その後審査委員長の講評をいただきました。
第二部では、宮城県名取市の渡辺修次先生より、「東日本大震災における被災体験から」と題して、講演をいただきました。昨年の三月十一日に発生した東日本大震災で、自ら三か月の間校長室に泊まり、避難所運営の指揮を執り、自助・共助による自治活動の体験談を話されました。参加された方々は、震災の貴重な話や避難所での生活の状況を熱心に聞き入っていました。
第三部では、顕彰、式典が開かれました。式典では、大会会長の挨拶の後、多年にわたって社会福祉の発展に寄与・功績のあった方々に、表彰状と感謝状が手渡されました。受賞者代表である風間捷雄さんより謝辞をいただき、運営委員が大会宣言を朗読し、閉会しました。
大会に参加された方々は、震災に対する心構えが出来たことと思います。

第四回福祉作文コンクール 受賞者決定

福祉作文コンクールは、児童・生徒が学習や生活の中で得た体験などに基づき、人や地域社会との関わりから生じる様々な福祉課題について作文で表現することにより、次代を担う子どもたちのメッセージとして伝えることを目的に実施しています。

応募対象は、小学五年生から中学三年生まで54作品の応募がありました。

表彰式は、十一月十日(土)の社会福祉大会の席上で行いました。

受賞者は次のとおりです。なお、最優秀賞・優秀賞の作品は、社協ホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

*最優秀賞

上島東小五年 齋藤鈴夏

*優秀賞

小学校の部

新宮小六年 小宮詩歩

中学校の部

旭中三年 本田春菜

*佳作

講評

福祉の原点は
相手に温かく伝わる行動

審査委員長
銚田市教育長

鬼澤 明

- 舟木小五年 藤枝彪真
- 青柳小六年 粕尾彩乃
- 旭中一年 豊田菜月
- 旭中二年 富田和伽
- 銚田南中三年 菅谷あかり

人の「心」や「思い」は誰にも見えませんが「心づかい」や「思いやり」は誰にも見えます。誰もがもっている心や思いが相手にうれしさ、ありがたさ、あたたかさとして伝わることはや行いになったときに「心づかい」や「思いやり」となります。

今回の作文にもこのことに気づき、みんなで「思いやり」「心づかい」を実践できるまちづくりをしたいという思いが書かれたものがたくさんあり、私の心もあたたまりました。

最優秀賞

私の考える 福祉のまちづくり



上島東小五年 齋藤鈴夏

「こわい。暗くて何も見えない。」
アイマスクと白杖を使って通路や階段を上り下りした福祉体験は、今まで味わったことのないきょうふでした。

総合の学習で、車いす・アイマスク・インスタントシニア体験をしました。一つ一つの体験は、それまで理解していた障害とは大きく違うことにおどろきました。目の不自由な人が道路を歩いても、車いすですべて通っている人を見かけても、

「大変だな。かわいそうだな」という同情の気持ちかありませんでした。しかし、体験を通して気付いたことは、いろいろなところにある階段が、実は歩行や車いすの操作に大きくひびくということです。分かっていても転びそうになったり、思うように車いすを操作できなかつたりしました。

ところが、そういう人たちのために準備されているはずの駐車場や歩道の現状は、決してよいとはいえません。スーパーで見かける障害者専用駐車場には、一般のドライバーが何も考えずに、「近いから」という理由で平気で止めていたりします。車いすで乗り降りするためのスペースで

あって、障害者の人たちが必要としている場所であることを認識してほしいと思います。また、歩道にしてもせっかく点字で方向を示してあるのに、無断で自転車や放置されて歩いて歩きにくくなっていたりします。

このことから、私たちがやるべきことは、相手の立場に立ってちよつとした心づかいをすることだと思えます。福祉体験をしたときに、友達が、「お手伝いしましょうか。」と、声をかけて手を取ってくれた時の安心感、そんな言葉があふれるまちづくりを目指したいです。





トピックス



茨城県社会福祉大会

10月26日(金)常陸太田市民交流センター「パルティホール」において、社会福祉の発展に功績があった方々の表彰と記念講演が行われ、鉾田市からは次の方々が表彰されました。

茨城県知事表彰

荒野吉生氏 藤枝礼子氏

県社協会長表彰

大槻 たみ子氏 市村 はつゑ氏 富田 泰氏
鉾田市リハビリ体操指導士会

みんなでつくった 「ふれあいの輪!!」

秋晴れの青空が広がる10月27日(土)、老人福祉センターともえ荘において、「障がい者ふれあい事業」(地域貢献活動支援事業)を市内の障がい者とその家族、市内の福祉施設の職員の方々、ボランティアなど総勢150名の参加協力のもと開催しました。

当日は、天候にも恵まれ杵と臼でおいしいお餅をつきあげ、全員でおいしくいただきました。また、レクリエーションでは、ソルトキャンドル作りとスタンプラリーを行い楽しい一時をすごしました。



いばらきねんりん スポーツ大会

11月5日(月)笠松運動公園で、「第17回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会」が開催されました。この大会は、各市町村の予選を勝ち上がったチームが全5種目の競技で、高齢者スポーツの全国大会にあたる「ねんりんピック」出場を目指し競い合いました。

鉾田市では、ペタンクの種目で出場した中居老人クラブ(大洋地区)が、みごと優勝に輝き、駆け付けた応援団と共に優勝の喜びを分かち合いました。中居老人クラブは、来年開催される「ねんりんピックよさこい高知2013」に出場予定です。

福祉の「め」

震災から 感じたこと



旭西小 6年
野原 海都

三月十一日の東日本大震災から一年半が過ぎました。目立っていたブルーシートも、今ではとりはずされ、きれいに瓦が並んでいます。多くの家も、今年の一月に瓦工事が終わりました。震災後は、瓦を直すまでに、五年ぐらいかかるかもしれないと聞いていたので、本当に良かったです。父は、台風や強風でシートがずれたり、破れたりするたびに、屋根に登っていました。「本当は怖い。」と言って、土のうの袋を並べている姿をぼくは、何度も見ました。父が落ちたらどうしよう

うと思いつながら、心配でたまりませんでした。

当時、ぼくは四年生でした。震災後は、落ちた瓦をコンテナに入れ、一輪車で運ぶことや家の中の壊れた食器の片付けを手伝っていました。ぼくができることはそれぐらいしかありませんでした。しかし、被災地では、全国から多くのボランティアの人々が集まって、被災した人々を助けていました。ぼくは、その姿に感動しました。

しかし、あの時の思いが、少しずつ薄れてきているような気がします。最近では、身体で感じる地震も減り、被災地の様子を伝える報道も減りました。でも、今でも仮設住宅で頑張って生活している人々がいることやがれきの問題、放射能の問題など、まだまだ解決されない問題が山積みであることを忘れてはならないと思います。

ぼくにもできること、それは人を思いやる心をもつこと



鉾田小 6年
中根 俊輔

ボランティア活動を 通じて感じたこと

です。自分さえよければいいではなく、家族、友達、地域の人々が困っていたら手を貸すことです。更に、やさしい言葉をかけたり、決まりを守ったり、あいさつをしたりすることも、大切だと思っています。この震災を体験して学んだことは、たくさんあります。それをこれからの生活に生かして、しっかりと考え行動していきたいと思っています。そして、今のぼくには、大きな活動はできないけれども、もう少ししたら「ボランティア」の一人として、人のために役立つ活動に参加したいと思っています。そして、その時ができるまでは、今の自分にもできたいと思います。

に町内のゴミを拾うボランティア清掃に参加しています。これは、「クリーン作戦」といって鉾田市全体で行っている活動です。道路や空き地にはゴミがたくさんあり、それを見る度に、がっかりしてしまいます。

毎年たくさんの方が集まって、見えにくいところのゴミまで丁寧に拾ってくれます。ぼくも見習うようにしています。ぼくの家族も、たくさんゴミを拾いました。ゴミの多くは、たばこの吸い殻や箱、空き缶、空きビン、ペットボトル、食べ物の袋などで、特に、たくさん落ちていた場所には、草が生い茂っている所やもう営業していない店の裏など、見つけにくい所ばかりでした。

しかも、大きなゴミが茂みの奥に隠すように押しこまれていたり、たばこの吸い殻が道路と側溝のわずかなすき間に入られていたり、まるで「見つからなければ捨ててもいい」と思っている人がいるように感じられます。しかし、ボランティア清掃に参加している人たちはそのこ

とを知っているようで、あつという間にゴミが回収されていきました。それを見て、ぼくもそんな風にきちんとゴミを回収できるようにになりたいと思います。

この清掃の範囲は旭町の公民館から橋の手前まででそれほど広くありませんが、ゴミがかなり落ちていて、時間がかかります。しかし、自分の住んでいる街がきれいになっていく光景を見ると、やりがいを感じます。

ゴミを平気で捨てる人は、まだたくさんいるでしょう。しかし、それを拾うことのできる心優しい人たちもまた、地域にたくさんいるのです。このような人たちを見習って、ほしいと思います。そして、ぼく自身も、誰もが気持ちよく生活することのできる、きれいな街になることを目指して、これからもクリーン作戦に参加していきたいと思



震災から 学んだこと



島田 真衣 6年
小島 諏訪

三月十一日、あの日から、もう一年と七ヶ月たつてしまいました。

私がおもともと住んでいた家は、何十年もたつている古い家だから仕方ないことだったのですが、半壊。時計も三月十一日の午後二時四十六分のみま止まっています。

「あの家は危ないから行ってはだめ。」

そう母に言われても、家にとく別な思いがある私は、月に一度学校から帰ってくる途中、どうしてもたち寄つてしまいます。そうして今も、ぬけてしまった床などを見るとあの時間のことがフラッシュバックしてきます。

泣いている子、何がなんだ

か分からない子、そういう子を私はひつしになだめました。なぜだかわからないけど、自分には泣いたらいけないとそうとつさに思ったからです。

今も、宮城県や福島県のひ災した方々のなかには、仮設住宅に住んでいる方がたくさんいます。その中には津波で親やきょうだい、友達を亡くした子供もたくさんいます。そういった子供たちは、私なんかよりも、もつともつと深く傷ついています。

私の学校では、ひ災地の復興へ向けて募金活動を行いました。「わずかですが復興の役に立てばいいな」と思いながら早く元の姿に戻ってほしいという祈りを込めて私と母も募金しました。

私はあの日、一生に一度、経験するかしないかのことを経験しました。こわくてこわくて仕方がなかったあの日のことを私は一生忘れることはないでしょう。このことをどう乗りこえていくかは、私たち次第、止まるも進むも私たち次第です。

でも、私たちは、一步一步

確実に前へ進んでいることにまちがいはありません。今こそ一人一人が新しい未来へ歩んでいく道を決断すべき時ではないのかなと思います。



福祉という意味



菅谷 あかり 3年
中南田 絆

「福祉活動」「ボランティア精神」この言葉の意味をどう考えますか。この言葉はともも身近にある言葉で、私は特に深く考えたことはありませんでした。

私が尊敬する藤原基央さん

というアーティストの人がある取材で、
「もし、足が不自由な人が階段を上っていたらどうしますか。」

と聞かれて、
「俺は何もしません。それで手をかして階段を上つても、その人は嬉しくないと思うから。」
と言いました。私はその意味を理解出来ませんでした。ところが藤原さんは理由を聞かれると、

「もし助けたらその瞬間にその人は一人で階段を上れないと決めつけているじゃないですか。それって差別になつていて、失礼だと思ふんです。」
と言いました。おそらく、ほとんどの人が「助ける」という選択をすると思います。理由を聞かれたら大抵「困っているから」と答えるでしょう。

でも、藤原さんの言葉を聞いて「困っている」というのは、自分の勝手な観念であつて助けたとしても、自分自身の自己満足にしかならないのかもしれない、気づきまし

今まで「福祉活動」や「ボランティア精神」というものは、ただ「進んで人を助ける」という事だと簡単に思っていました。人によって考え方は違うと思います。

でも、私が今考える「福祉活動」「ボランティア精神」の本当の意味は「進んで人を想う」ということだと思ひます。「人を想う」ということは、だれにでも出来ることです。ただ「困っているから」と理由づけして助けるのではなく、「想う」ことよつて自然と、福祉やボランティアなどになるのだと私は思ひます。

今の社会では、福祉やボランティアが求められています。そんな時代に貢献するために、私は「人を想う」ことを忘れずに生活していきたいです。



平成 24 年 度 銚田市社会福祉協議会 会員加入報告

思いやりとやさしさの“会費”をありがとうございました

平成 24 年度会員募集に際しましては、東日本大震災による被災ならびに経済状況の厳しい中にも関わらず、ご加入を賜りまして心から感謝を申し上げます。

皆様からお預かりしました貴重な会費は、少子高齢化社会に向けた事業の拡充や障害者向け事業・ボランティア事業など、地域の実情に応じた各種事業の財源として有効に活用させていただきます。皆様の温かいご芳志に感謝を申し上げますとともに、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 24 年 11 月 30 日
銚田市社会福祉協議会 会長 鬼 沢 保 平

会員会費総額	13,914,000 円	(平成 24 年 11 月 30 日現在)
一般会費	特別会費	法人・団体会費
8,929,000 円	2,675,000 円	2,310,000 円

以下は、特別会員(5,000円/1口)として加入いただきました会員の皆様です。

(敬称略)

旭地区(55口)	関 根 源 三	米 川 治 夫	米 川 礼 子	植 田 商 店
栗 原 久 彌	長 洲 健 男	畠 恵 子	白 田 良 孝	総合ギフト井川
白 田 庫 夫	小 沼 明	田 崎 信 二	田 崎 石 油 店	田 崎 歯 科 医 院
大 内 工 務 店	田 崎 郵 便 局 長	石 田 正 三 郎	渡 部 啓 一	小 沼 頼 廣
入 江 雄 司	延 方 量 昭	小 沼 三 男	竹 内 武 夫	曾我部 尚 親
坂 田 自 動 車	くるみや石油(有)	江 沼 孝 子	スーパータケウチ	皆 藤 忠 三
佐 藤 登	梅 原 達 男	皆 藤 正 秀	栗 田 正 人	浅 倉 一
人 見 國 昭	富 岡 一 夫	加藤自動車整備工場	鈴 木 牧 場	米 川 博 美
清 水 勝 衛	豊 島 真 喜 子	田 山 兼 史	田 口 文 子	田 口 一 郎
石 崎 順	菅 谷 弘 史	狩 野 秀 彦	鬼 沢 一 夫	平 沼 政 義
生井澤 澄 夫	足 立 正 興	大 山 映 子	斎 藤 浩	田 神 修 一
小 林 順 子				
銚田地区(385口)	長 峰 保	宮 崎 修 士	石 崎 巖	堀 田 政 雄
今 泉 時 計 店	久 保 田 勉	山 口 吉 久	大 川 み ど 里	大 沼 信 夫
塚 原 祐 次 郎	箕 輪 信 雄	小 沼 恒 敏	小 貫 勝 治	石 崎 昭 夫
青 山 恒 雄	塙 秀 文	大 聖 寺 登 美 雄	橋 本 左 内	セイコーマートかせ
榊 原 と き 子	田 島 隆 勝	池 嶋 泰 久	久 芳 て る 子	向 学 館
佐 藤 洋 子	榊 原 保 郎	中 村 屋 銚 田 店	榊 屋 新 駅 前 店	井 野 文 具 店
石 崎 三 郎	新 堀 昭 二	村 田 藤 男	島 田 三 郎	竹 野 屋 本 店
保 科 博 邦	田 山 景 子	(株)木村電化センター	朝 日 屋 薬 店	山 口 正 雄
上 原 造 花 店	塙 石 材 店	佐 々 木 テ ン ト	永 長 和 広	本 澤 衛
クリーニングのやまと	田 上 福 弥	(株)宮本製豊店	鹿 島 屋 タ ク シ ー (有)	隅 田 川 遠 峰 酒 店 (有)
土 子 薬 局	椎 名 商 店	マ ツ ヤ 電 気	高 柳 歯 科 医 院	ホ テ ル さ わ や
浅 野 茂 二	新 堀 弘 道	吉 田 屋 種 苗 店	木 村 邦 夫	大 和 岑 生

濱 田 憲 一	渡 辺 彰	中 城 昌 平	永 嶋 美 智 子	川 崎 真 嗣
吉 見 頼 能	久 保 田 和 江	皆 藤 清 吉	荒 野 信 寿	鬼 沢 洋 一
大 和 田 農 機 店	武 田 精 米 店	ビユーテイさくら	大 和 田 冷 熱 工 業	沼 田 美 容 室
沼 田 保 夫	色 川 燃 料 店	夕カラブネ鉾田店	大 川 晋 一	荒 野 耕 一 郎
渡 辺 信 子	真 家 弘	平 野 正 夫	高 野 徳 一	中 城 隆
黒 田 一 次	久 保 田 豊	中 城 恵 一	山 崎 忠 邦	山 口 真 作
出 久 根 亮 一	増 子 書 店	伊 東 時 計 店	君 和 田 光 男	ナ 才 美 容 室
高 橋 忠 夫	ミートセンター菊地	夕ケダ化粧品店	尙 ナ ガ ミ ネ	竹 内 太
長 峯 薫	岡 部 商 店	池 島 商 店	藤 崎 功 蔵	国 吉 材 木 店
長 峯 賢 二	栗 野 電 機 商 会	田 山 芳 男	堀 米 勇	繁 寿 司
黒 田 實	山 本 末 男	額 賀 昭 治	小 田 照 男	川 又 輝 美
市 村 はつゑ	鬼 沢 好 紀	和 田 正 義	中 島 庸 介	横 田 務
方 波 見 勇 雄	方 波 見 邦 夫	中 泉 重 夫	中 泉 和 彦	小 沼 洋 一
平 沼 邦 利	石 崎 健	堀 米 宏 之	洋 食 亭 と き わ	㈱ 関 電 工 茨 城 支 店 鉾 田 営 業 所
山 田 幸 吉	白 井 透	大 場 伊 佐 夫	白 井 精 一	白 井 忠 夫
大 山 正 子	田 山 敏 雄	白 井 一 夫	平 沼 義 和	鈴 木 良 一
小 野 瀬 武 彦	鷺 沼 衛	渡 辺 法 彰	山 口 喜 一	大 貫 政 好
平 沼 政 二	中 山 孝 介	大 川 英 雄	中 山 民 樹	中 山 一 郎
山 口 勝 美	郡 司 ド ラ イ ブ イ ン	尙 イ ス ズ 工 業	小 室 多 正	小 室 善 孝
麻 生 勝 男	東 野 正 芳	㈱ 松 坂 屋 鉾 田 営 業 所	お ぬ ま 食 堂	佐 々 木 春 樹
伊 東 良	橋 本 商 店	森 作 武 男	塙 末 男	山 崎 岩 雄
塙 賢 一	長 峯 正 俊	竹 内 晃 三	池 野 和 夫	浅 野 功
岡 里 洋	浅 野 重 治	大 場 忠	浜 田 洋 一	行 川 光 男
秋 山 林	堀 田 正 秀	鈴 木 緑	二 重 作 勝	金 沢 松 太 郎
金 沢 保 男	金 沢 栄 治	栗 野 光 臣 / 2 口	金 沢 平 四 郎	金 沢 貞 男
中 田 信 雄	栗 野 嘉 彦	尙 ス ガ ヤ 造 花	鬼 沢 長 兵 衛 商 店	栗 林 信 雄
鬼 沢 一 郎	尙 巴 川 電 気 工 事	鬼 澤 明	二 重 作 茂 兵 衛	サ ワ ヤ
緑 屋 食 堂	鬼 沢 房 男	鬼 沢 市 平	小 島 決	尙 同 和 製 作 所
青 柳 自 動 車	筒 井 道 雄	尙 小 松 崎 林 業	塙 す み 子	藤 野 力 雄
山 田 賢 一 郎	郡 司 光 一	井 村 浩 一	志 賀 涉	山 越 栄
郡 司 自 動 車 サ ー ビ ス	友 部 よ し 枝	井 川 信 義	海 老 澤 光 男	井 川 幹 裕
中 村 守	井 川 己 智 男	河 野 一 成	田 口 博 基	荒 木 田 正 則
松 平 由 見	沼 田 陽 一	平 沼 壮 一 郎	井 坂 邦 男	藤 野 達 也
池 田 訓 史	田 山 博 行	小 松 崎 明	平 沼 直 樹	高 柳 正 和
木 下 武 志	堀 部 彦 昭	杉 山 久	杉 山 好 博	和 田 光 敏
大 村 庵	小 松 崎 文 右 衛 門	米 川 忠 衛	小 松 崎 富 衛	中 島 甚 一
飯 塚 經 廣	小 沼 正 一	小 松 崎 一 男	飯 塚 健 一	小 沼 正 喜
ラ ー メ ン と ン 太 大 洋 店	飯 塚 道 夫	大 貫 忠 一	木 村 和 利	皆 藤 物 産
小 泉 良 嗣	市 毛 宏 知	旭 真 空 ㈱	㈱ 日 新 フ ァ ニ ャ ー	稻 沼 幸 子
小 泉 正 則	大 久 保 敏 雄	久 家 敏 則	井 川 淳 市	打 田 進
打 田 治 美	香 林	松 峯 ゴ ル フ ガ ー デ ン	細 谷 勇 一	井 川 昭 三 商 店
田 崎 建 設	郡 司 勤	尙 照 沼 商 店	オ ー ト ワ ー ク ス 逸 見	大 関 優
井 川 勲	富 田 栄 作	佐 伯 商 店	塙 卓 美	井 能 組
長 谷 川 満	㈱ 鉾 田 ク レ ー ン 工 事	大 進 自 動 車 商 会	㈱ ラ ン パ ー テ ッ ク 鉾 田 工 場	㈱ 関 口 ミ ー ト

新堀昇	大庭茂	新堀浩司	新堀建設	(有)小沼工務店
丸屋食品工業	(有)米川重機	高場総業(有)	小沼住総(有)	ココナ産業(株)
鳥栖新田上組4班/2口	富田哲夫	増子信利	土井製作所	(有)土子商事
なかね製菓	才才夕	鬼沢商店	大槻たみ子	木村徹
小島賢	小島一夫	高野和夫	飯名淳一	沼田正
福田礼子	宇佐見常男	山口廣	鬼沢健	大津博史
中山太喜子	加藤明	理崎羊	坂場満	小村俊雄
松本一男	山口吉一	山口廣	川島繁	櫻井正昭
櫻井博子	石崎博一	中根喜三男	小池明	小松崎梅男
柴田真	堀田義勝	堀田廣実	堀田食品	山口才恵
佐伯裕二	小沼デンキ	(有)澤幡青果	佐伯忍	山口陽一
(有)東関ユニフォーム	富田昌一	渡辺由正	渡辺富士雄	(有)額賀商事
園部商店	今泉和介	中根浩	舟木郵便局	松本祐一
野本洋	藤崎加六	栗原牛乳店	高塩製菓	雨宮牛乳店
柴田馨	小室正子/2口	櫻井邦彦	眞田龍一	豊崎義人
金田久美子	入江洋一	坂本将	宮下均	大川久
高正孝行	竹内芳文	米川末雄	柴義幸	井能忠雄
小松崎いそ子	根本研司	海老原尚也	土子智之	大場涉
宮内一成	伊東洋治	松金邦行	田山敏弘	金沢覚
田口正志	小堤明	方波見隆雄	佐々木正夫	君山浩一
小林純生	塙絵美	中川義一		
大洋地区(95口)	平山直樹	寿美屋ドライブイン	荒原石油店	斉藤嘉久
風間守	箕輪明男	風間捷雄	大槻清孝	菅谷藤衛
越川隆好	内海宏之	額賀政志	日向寺教修	菅谷俊春
さんて旬菜館	小野千秋	高橋栄隆	小沼宗二	大槻清也
小見辰男	小見政義	小見憲男	飯島幸至	飯島與治右衛門
菅谷稔	山本實	高橋操	小野裕之	小野恒明
小野敏夫	飯塚みつ子	小野保蔵	菅谷隆栄	菅谷與志雄
石津正男	かしま野管理サービス	菅谷能夫	久保田篤	菅谷高子
菅谷勇	菅谷利貞	大川博	国長金属(株)	菅谷英男
額賀元康	下河邊一良	下河辺忠明	(有)山口工務店	山上宗俊
井川正	梶山茂	平山正男	勢子政義	大槻幸雄
梶山静夫	高野武夫	勢司秀子	梶山知英子	中根忠良
小室安雄	田山和彦	田山久生	武田英明	田山洋一
小堀和久	根崎年子	小沼淳一	小沼富男	小沼美喜雄
飯島自動車工業	深作秀喜	小野瀬晴比古	鈴木義一	椎木健一郎
菅谷實	石津和夫	石津勝男	高野久夫	飯島仁
大川行雄	井郷實	立木治	(有)ビジョン	大洋土づくりセンター
飯島建設	高橋吾喜夫	高崎桂子	清水治/2口	小濃松雄
山口俊夫	伊東啓一	高崎啓子	櫻井明彦	藤崎隆夫

以下は、団体会員(10,000円/1口)として加入いただきました会員の皆様です。

(敬称略)

旭地区(36口)	(有)共伸	千代田メンテナンス(株)	いこいの村廻沼	(株)中野建設
社会福祉法人勇成会	(株)土井工業所	小松崎物流(株)	(有)旭運輸	ひたち農材(株)

(有)アサヒ設備工業	(株)佐々木建設	茨城旭村農業協同組合	ハイクワグナージャパン(株)	(株)石崎商事
福旭育会あさひ保育園	神谷医院	菅谷商店	(株)昭和観光	港化成工業
大島種苗旭店	新茨城旅行(株)	栃木県立とちぎ海浜自然の家	酒井建設(株)	(有)栗田産業
堀田仏具店旭支店	ファミリーレストラン諏訪村	(株)旭環境	(福)縦山会	縦山診療所
(株)ホソヤ自動車	常陽銀行旭支店	旭地区民生委員児童委員協議会/50		
鉾田地区(168口)	(株)田中工務店	桜本瓦工業(株)	アサヒ自動車工業	安達商事
(有)サクラモト	渡辺建設(有)	(有)うろこ清掃社	岩間歯科医院	塩谷歯科医院
あかつき保育園	(株)飯塚工務店	朝日商事(株)	(株)朝日工務店	(株)青光興建
石崎印刷(株)	大貫歯科医院	三光院	上杉医院	久家動物病院
(有)ライフケアなぎさ	白石医院	(有)田山スポーツ	北浦整形外科	(有)みのわ
(有)荒野勇商店	田山浩司商店	(株)洋服のハシモト	(有)かどかしや書店	(有)渡辺石油
ハタミ病院	(有)田口造花	当間屋酒店	(有)箕輪石油店	平沼石油店
田口生花店	ハタミ居宅介護支援事業所あおば	實相院	(株)内田建設	鬼沢医院
(株)ミヤウチ	(有)中根鮮魚店	佐藤電気商会(有)	(株)荒佐	茨城農材鉾田(有)
(株)オジマ洋品店	(有)石上ファーム	(有)ヤマデン	鉾田市商工会	市丸食堂
高須病院	セブンイレブン塔ヶ崎店	関鉄グリーンバス(株)	さわやか薬局	パン工房壱番館
手打そば・おにざわ	(株)磯山商事	鉾田市建設業協議会	高橋医院	鉾田病院
(福)東湖園	(株)吉田石油	(株)鉾田自動車学校	(有)鹿行段ボール	ジョイフル山新鉾田店
(有)菅谷電機商会	フロンティア鉾田春の場所	埼自動車商会	大貫自動車整備工場	華養院
中山材木店	(株)大貫運送	竹水	エブリッジホーム(株)	(株)米川商事
(株)伊東建設	池田瓦工業	鈴木接骨院	鉾田青果(株)	(有)菅谷工務店
代々城運送(株)	(株)水戸屋	郡司測量登記事務所	(有)光翔	(株)フカサク旅行企画
福くしひき保育園	(株)ヤマザキ	長峰商店	小島物流(株)	藤井建設(株)/20
湘栄産業(株)/20	白帆観光(株)	真家モーターズ	(株)鬼沢商店	(有)鈴木工務店
吉祥寺	丸加スズキ販売	ダイヤグリーン倶楽部	粕尾建設	二重作貞雄商店
(有)ヤマコシデンキ	西光院	(株)マルモ	井坂商事	(株)ニュー麻生
(株)ヨコタ基礎工事	丸二工務店	浄源院	(福)青山保育園	(医)柳沢歯科医院
ビッグレッドファーム	(有)中島屋商店	常陸造花店	(有)米川電気	(有)北島マシンナイフ
ひので酪農鉾田事業所	グループホームもみじ	海老沢商店	アルファエレクトロン	(有)日栄建設
(有)鉾田グリーンゴルフ	巴診療所	星野環境衛生社	長峰青果	(有)川島精市商店
下富田無量寿寺	(有)鬼沢衛商店	とりのす保育園	教圓寺	(株)新堀工務店
鳥栖無量寿寺	(有)大庭自動車商会	鉾田サンハウス	今泉食品(株)	栄屋食品(株)
オールスパイス商会(株)	鹿行リースキン	(有)小川建設	(有)大槻製材所	イセファーム(株)
永田工務店	旭物産(株)鉾田工場	村田基礎工事(株)	地域活動支援センターメイプル	マルコ・アグリビジネス協同組合
石崎ゴルフガーデン	田崎歯科医院	板垣線材加工(株)	舟木クリニック	(株)関東製置
舟木建設(株)	(有)フジタオート	(有)茨城映画センター	岩城印刷(株)	東関東サービス
第一熱学建設(株)	(株)長登屋水戸営業所	(株)ロングライフ	(株)茨城福祉サービス	鉾田ロータリークラブ
(有)プライマリー総合保険	鉾田ライオンズクラブ/30	(有)鹿島測量	中根ライスセンター	(株)二川工務店
大洋地区(27口)	しもこうべ歯科医院	江川工業(株)	うえるさんて大洋	アルカディアランドハウス
おか歯科医院	(株)飯島電気工業	山本新聞店	三重電子工業	大洋保育園
わんぱく保育園	岸田建設(株)	石津薬局	おおくにや(株)	たいよう歯科診療所
(株)鹿東商事	(株)ソナ・インネット	みつる商事	(有)小沼鉄工所	(株)田口建設工業
たきもとクリニック	通所リハビリテーションゆんたく	訪問看護ステーションたいよう	(有)クリエイト	ココストア大洋汲上店
正木住建(有)	(有)大洋タクシー	(有)大洋		

ボランティア紹介

銚田市食生活改善推進員連絡協議会

本会は、日本人の食に関する健康であるための栄養・習慣等を基本課題にしている全国規模の会です。茨城県ではどのような食生活をしているかを見きわめ、食改は変わりつつある毎日の食事の習慣の中で見直すべきところは、見直しましようと呼びかけています。

生活習慣病は毎日の食習慣から高血圧・糖尿病になり心臓疾患や脳梗塞など命にかかわる高リスクとなります。予防のため、食改では「塩分取り過ぎ注意」を目標にして地域伝達講習会に出向くのが主な活動です。

会員は銚田市全体で一九〇名いますので各支部に分れて日程を割り当て出張します。地域の公民館等で実例調理をつくり、同行する保健師・栄養士の話と運動の後、一緒にその食事をします。この活動をするために調理実習をします。場所は銚田市内の保健センター等の調理室で、レシピの説明や調理の注意があ

り、何班かに分れての実習です。食後はテーブル毎の調理の工夫や感想を話します。

銚田・大洋・旭の合同実習です。普段は顔を合わせない方々と話し、お互いに手伝う様子も自然に見られます。

また、近隣で行われる講演会や銚田市の行事に参加する事で知り得た事も多くあり、絶好の勉強の場所になります。

華やかな食文化の今を、楽しみながら活動できる事は、幸せな時代だからこそと感じ、頑張っています。

会長 末岡 資子



ゆたかなふれあい

高齢者社会の現況 (旭地区)

旭地区造谷第一高齢者クラブの活動状況は、前に二回程紹介していますので、今回は、高齢者クラブの現状について紹介します。

どこの地区も、同じ様な問題を抱えている事と思いますが、旭地区高齢者クラブの単位クラブ数は、昨年まで十三クラブあったのが、今年は二クラブが解散に追い込まれ、十一クラブになってしまいました。

その上、各単位クラブの会員数も、亡くなられた方があっても、新しく入会する者がいないので、会員数が年々減少しているのが現状です。

今、日本は、世界的長寿国と言われており、高齢社会が急速に進展する中、私達高齢者が社会参加や生き甲斐を高め、地域社会の支え合いの輪を広めるなど、高齢者の役割は、ますます重要になってきています。

私達高齢者が、地域社会の発



展に貢献するには、何と言っても、健康な体力作りが欠かせない問題です。

造谷第一高齢者クラブでは、その人その人の体力にあわせて適度の運動にて、コミュニケーションを取りながら、地域間の交流を深めるスポーツ(グラウンドゴルフ、輪投げ、ペタンクなど)で、健康維持に努めています。

また、健康管理を目的にした行事として、毎月一回、社会見学や入湯、食事会などを実施し、意気揚々の中、楽しみながら体力維持に努めています。

旭地区会長 竹内 武夫

『ともえ荘』年末年始休業日のお知らせ

日ごろより、ともえ荘をご利用いただきありがとうございます。当施設の年末年始の休業日につきまして、右記のとおりお知らせいたします。

年末年始休業日
平成24年12月29日(土)～平成25年1月4日(金)
まで休館となります。

お知らせ

銚田市ボランティア活動センター事業

防災ボランティア講習会

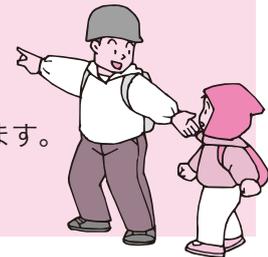
災害発生時に各種支援活動に参加・協力して下さる方を対象に、必要な知識や技能をもって対応していただけるよう防災ボランティア講習会を開催いたします。

だれでも
参加できます!!

●日時と内容

- 1月25日(金) 13:30~15:30 災害救援ボランティア活動の基本
- 2月 1日(金) 13:30~15:30 災害ボランティアの実際
- 2月 8日(金) 13:30~16:30 普通救命講習
- 2月15日(金) 13:30~15:30 炊き出し訓練、ロープワーク、テントの組み立て方、発電機の使い方、災害用伝言ダイヤル体験など
- 2月22日(金) 9:30~16:30 防災体験(千葉県西部防災センター)

- 開催場所：銚田市社会福祉協議会銚田本所 銚田市当間228番地
- 参加定員：30名(先着順)
- 参加費：無料 ※2月22日のみ昼食代1,000円をご負担いただきます。
- 申込方法：電話でお申し込みください。
(後日、参加案内をお送りします。)



●お問合せ・申込先 【社協 銚田本所】
〒311-1528 銚田市当間228
TEL 0291-32-5831・FAX 0291-32-5832

多くの善意を ありがとう

期間：9月11日～11月10日現在

善 意 金

福祉一般へ預託

- 篠原 幸男さん 5,000円
- 猪俣 祥光さん 10,000円
- 高杉 征宏さん 2,000円
- 銚田ロータリークラブ 19,640円



- 銚田舞踊クラブ 7,485円



- 藤井産業(株)、(株)環境技術コンサルタント、(株)江東微生物研究所、昱(株)、(株)玄設計、

- 常陽メンテナンス(株)、メタウォーター(株) 22,290円
- 銚田ライオンズクラブ 70,000円



- 銚田地区民生委員児童委員協議会(10月分) 2,741円
- JAかしまなだチャリティーゴルフ実行委員会 66,700円



- 小高根女性会 25,417円
- 銚田市商工会 11,919円
- 水戸ヤクルト販売(株) 70,000円



- JA旭サングリーンフリーマーケット会 9,000円

- 銚田地区民生委員児童委員協議会(11月分) 3,888円
- さんて旬菜館 1,329円
- 匿名 3,743円
- 老人福祉へ預託
- ハッピークラブ 10,000円
- 障害福祉へ預託
- 匿名 10,000円

善 意 品

- 中村 良平さん 紙オムツ 3袋
- 猪俣 祥光さん ティッシュペーパー 24箱
- 大貫 修一さん さつまいも 100キロ
- 武田 重信さん わかさぎ5キロ
- 吉崎 栄一さん 川エビ5キロ
- 茨城県退職公務員連盟鹿島支部 大洋地区 タオル 78本
- 匿名 固形石鹸 20個
- 匿名 米 30キロ
- 匿名 タオル 54本

◎使用済み切手・図書カード

- 小島 泷・(有)小沼農機商会・大和田農機店・銚田地区民生委員児童委員協議会



保育所(園)・幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切な事です。

市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。



「気球に夢をのせて

しゅっぱーっ！」

大きな虹は輝く未来をイメージし、子ども達の夢と希望をのせた気球が虹にかつている様子を表現しています。

青山保育園

5 歳児

「夢を乗せてGOO！」

地球を飛び出すくらい大きな夢を持つと、宇宙をイメージして作りました。一人一人の思いを乗せて、ロケット発射です。

大洋保育園

ゆり組



季節の たより

野鳥の話

シジュウカラ…「シジュウカラ科」

山林などに一年中生息し、時には人家の庭先等にも飛来する。昆虫類、クモ類、草木の実等を食べる。繁殖期以外は、群れで生活するものが多く、他のカラ類やコゲラ、メジロ、ゴジュウカラ等が混じることもある。シジュウカラのシジュウは、本種の「シユクシユク」と鳴く地鳴きからが定説、カラについては、諸説あり、種名の語源は判然としない。漢字では四十雀と書く。四十は、一説に頭部が灰色をした(老人を連想)ゴジュウカラ(五十雀)に対し、頭部が黒い(若い)から。雀は、小さい雀(ふるとり・鳥の意)で小鳥の総称である。



エナガ……「エナガ科」

シジュウカラと同様の環境に生息する。移動時には市街地の庭先などに姿を現すこともある。繁殖期以外はシジュウカラ等と混群を作って生活することもある。本種、前種とも雌雄は同色である。食物も前種と同様であるが、本種は停空飛行をしてアブラムシ等の昆虫類を捕食したりもする。体は丸っぽくかなり小さいが、体の割に尾が長い。種名の柄長は、尾が柄杓の柄のように長いからついた。当地方の方言名で本種をゴジュウカラと称していたが、ゴジュウカラは全くの別種で、当地方で観察したことは、現時点でない。

川 又 利 彦



銚田市社協
ホームページのお知らせ

社協では、福祉に関する活動を市民の皆さまにより理解していただくためホームページを開設しています。ぜひ、閲覧してください。

URL <http://www.hokotashakyo.or.jp> (「銚田市社会福祉協議会」で検索できます。)